

授業科目 成人看護学方法論Ⅲ	担当講師名	単位数 1	時間数 30	履修年次・前/後			
	専任教員名			2年次/前期			
講義のねらい	1 成人期の機能障害のある患者の看護について理解する。						
授業形態	講義・演習	担当及び時間					
講義内容	<p>1 消化吸収機能障害のある患者の看護</p> <p>1)原因の障害の程度のアセスメントと看護</p> <p>2)症状に対する看護</p> <p>3)検査・処置を受ける対象への看護</p> <p>4)治療を受ける患者の看護</p> <p>5)消化機能疾患のある患者の看護</p> <p>食道疾患、胃・十二指腸疾患、腸・腹膜疾患、ストーマ造設を必要とする疾患の看護</p> <p>デモンストレーション「ストーマのパウチ交換」</p> <p>2 栄養代謝機能障害のある患者の看護</p> <p>1)原因と障害の程度のアセスメントと看護</p> <p>(1)膵液分泌障害(2)胆汁分泌障害(3)肝機能障害</p> <p>2)症状に対する看護</p> <p>3)検査・処置を受ける患者への看護</p> <p>4)治療を受ける患者の看護</p> <p>5) 栄養代謝機能疾患のある患者の看護</p> <p>(1)膵液分泌障害(2)胆汁分泌障害(3)肝機能障害</p> <p>3 身体防御機能障害の患者の看護</p> <p>1)原因と障害の程度のアセスメントと看護</p> <p>2)症状緩和に向けての看護</p> <p>3)検査を受ける対象への看護</p> <p>4)治療を受ける患者への看護</p> <p>5)病期や機能障害に応じた看護</p> <p>(1)アレルギー性疾患(2)自己免疫疾患(3)血液悪性疾患</p> <p>(4)ヒト免疫不全ウイルス感染症(HIV)</p> <p>6)がん薬物療法と看護</p> <p>(1)治療計画をふまえた患者へのかかわり</p> <p>(2)がん薬物療法における副作用の看護</p> <p>4 乳腺機能障害のある患者の看護</p> <p>1)検査を受ける患者の看護</p> <p>2)治療をうける患者の看護</p> <p>3)病期や機能障害に応じた看護</p> <p>(1)乳がん</p>	5	5	6	5	5	4
教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 ④血液・造血器 ⑤消化器 ⑨女性生殖器 ⑩アレルギー/膠原病/感染症 (医学書院)						
参考文献	3 必要に応じて資料を配付する 4 必要に応じてDVDを視聴する						
評価方法	終講試験 1 1)2)3)4)、1 5)各25点 2 50点 合計100点 終講試験 3 1)2)3)4)5) 40点 3 5) 40点 4 20点 合計100点						
備考欄	解剖生理学、疾病治療論、成人看護学概論を受講しておくこと 教員とのコンタクトは授業終了時に案内する						